事　務　連　絡
令和8年　9月 30 日

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当部長
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業調整課長
都市再生機構下水道担当課長
殿

国土交通省水管理・国土保全局
上　下　水　道　企　画　課
管理企画指導室企画専門官
下　水　道　事　業　課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネット NO.298 について
（令和８年８月分）

１．維持管理作業事故

令和８年８月は２件（死亡：０件、負傷：２件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると２件減少しました。

維持管理事故の例として、汚泥乾燥機の点検口を開放し、機内監視カメラの清掃作業を行っていたところ、機内に滞留していた乾燥汚泥が発火し、作業従事者が熱傷を負う事故が発生しました。

２．工事事故

令和８年８月は５件（負傷：５件、物損：０件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べると６件減少しました。

工事事故の例として、下水道管きょの掘削工事の現場の歩行者用通路にて自転車利用者に降車して通行するよう交通誘導員へ指示し施工を行っていたが、降車を促す前に自転車に乗ったまま通行したことにより、掘削箇所へ転落し負傷する事故が発生しました。

３．水質事故等

令和８年８月は７件（水質事故：７件、その他案件：０件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると２件増加しました。

水質事故の例として、マンホールポンプの自動交互運転の切替リレーの不良により、自動交互運転でポンプが起動できず、汚水が溢水し、道路脇の田んぼに汚水が流入する事故が発生しました。

４．発生事故を踏まえた今後の対応について

令和８年５月 20 日付で発出した「下水道管路等内作業における安全確保の徹底について」（令和８年５月 20 日付事務連絡）も踏まえ、下水道管路内作業において

は、作業者の安全性を最優先し、換気や転落防止などの安全対策を十分に実施することを改めて徹底し事故の未然防止に努め、施設の運転管理や保全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

また令和８年８月５日付で発出した「下水道工事における鋼製ケーシング浮上事故と再発防止に向けて」（令和８年８月５日付事務連絡）や令和８年８月27日付で発出した「下水道工事（泥濃式推進工法）における適切な施工及び安全対策の徹底について」（令和８年８月27日付事務連絡）も踏まえ、各下水道管理者におかれましては、事故が未然に防止されるよう、下水道工事における適切な施工及び安全対策の注意喚起を徹底していただくようお願いいたします。

また工事事故において、第三者が掘削箇所へ落下する事故が発生しております。各下水道管理者におかれましては、同様の事故を防止するため、ガードマンによる適切な誘導及び声掛けを行うとともに、歩行者通路の段差解消を徹底するなど、安全対策の確実な実施をお願いいたします。

※　下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※　下記のＨＰにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いします。

HP：https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※　厚生労働省の下記のＨＰに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いします。

HP：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

（担当・問い合わせ先）
国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課管理企画指導室（維持管理事故（水質事故等含む）担当）
平野 ： hirano-h2ia@mlit.go.jp
大内 ： oouchi-m8310@mlit.go.jp
TEL:03-5253-8428（直通）　FAX: 03-5253-1596

下水道事業課事業マネジメント推進室（工事事故担当）
田中 ： tanaka-y2an@mlit.go.jp
椿野 ： tsubakino-s2m8@mlit.go.jp
TEL:03-5253-8431（直通）　FAX: 03-5253-1597

令和８年度
下水道に関する事故発生状況について
（令和８年８月末時点）

１．　人身事故（総括）

２．　維持管理作業事故

３．　工事事故

４．　水質事故等

国土交通省　水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1.人身事故（総括）

（令和8年8月末時点）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
維持管理作業	1 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)								1 (1)
	2. 負傷事故	3 (1)	0 (1)	4 (0)	1 (7)	2 (3)								10 (32)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)	2 (4)								11 (33)
	累計	3 (1)	4 (2)	8 (2)	9 (9)	11 (13)								－
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (2)								0 (8)
	2. 負傷事故	2 (0)	8 (3)	6 (4)	4 (7)	5 (5)								25 (59)
	合計	2 (0)	8 (3)	6 (5)	4 (8)	5 (7)								25 (67)
	累計	2 (0)	10 (3)	16 (8)	20 (16)	25 (23)								－
合計	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (3)								1 (9)
	2. 負傷事故	5 (1)	8 (4)	10 (4)	5 (14)	7 (8)								35 (91)
	合計	5 (1)	9 (4)	10 (5)	5 (15)	7 (11)								36 (100)
	累計	5 (1)	14 (5)	24 (10)	29 (25)	36 (36)								－

※下段（）書きは前年度（令和7年度）の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故

（令和8年8月末時点）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
事業主体	1. 都道府県	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)								2	(2)
	2. 政令市	3 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (2)	1 (0)								6	(2)
	3. 一般市	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (4)	0 (3)								2	(9)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1	(0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)	2 (4)								11	(13)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)								0	(2)
	2. マンホール	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)								2	(2)
	3. 処理場	2 (1)	0 (1)	3 (0)	0 (1)	2 (3)								7	(6)
	4. ポンプ場	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	0 (0)								1	(3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)								1	(0)
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)	2 (4)								11	(13)
事故類型	死亡事故	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)								1	(1)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)								0	(1)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	(0)
	14. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								1	(0)
	負傷事故	3 (1)	0 (1)	4 (0)	1 (7)	2 (3)								10	(12)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (2)	1 (1)								4	4
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)								0	2
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)								0	1
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)								2	1
	5. 転倒	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)								2	1
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								1	0
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)								1	0
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	14. その他	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)								0	3
	合計	3 (1)	1 (1)	4 (0)	1 (7)	2 (4)								11	(13)

被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1	0
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	②負傷	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1	0
	2. 委託先業者	3 (2)	2 (1)	3 (0)	0 (7)	2 (6)								10	16
	①死亡	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (4)								2	4
	②負傷	3 (2)	0 (1)	3 (0)	0 (7)	2 (2)								8	12
	3. 第三者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)								1	2
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0	0
	②負傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)								1	2
	合計	3 (2)	2 (1)	4 (0)	1 (9)	2 (6)								12	(18)
	累計	3 (2)	5 (3)	9 (3)	10 (12)	12 (18)								－	－

※（　）書きは、前年度（令和7年度）の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和8年8月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
8月										
1	R8.8.1	政令市	処理場	⑪火災・爆発	汚泥乾燥機の点検口を開放し、機内監視カメラの清掃作業を行っていたところ、機内に滞留していた乾燥汚泥が発火し、作業従事者が熱傷を負った。事故当時、乾燥機内温度は157°Cと通常時（80～100°C）を上回っていたが、作業手順書に機内温度に応じた作業基準が定められていなかったため、点検口を開放して清掃作業が実施された。 　その結果、外気の流入により乾燥汚泥の自己発熱が急激に進行し、発火に至ったものと推定される。	・運転要領の見直し ・作業標準書の見直し ・運転員への見直し後の運転要領及び作業標準書の周知（教育）	委託先業者	37	男	顔面、左腕、唇熱傷
2	R8.8.18	都道府県	処理場	①墜落・転落	2系終沈越流トラフ清掃作業を4名で実施中、バランスを崩して池へ転落した。その際、清掃道具に右手親指を押し付けた。 ・ライフジャケットを着用していた為、沈まずに退避できたが、使用していた道具で親指付け根の靭帯を損傷した。	・本作業のリスクアセスメント実施。 ・安全衛生委員会で取り上げて職員へ周知する。	委託先業者	65	男	右母指関節靭帯損傷

:死亡事故　:負傷事故

3.工事事故

（令和8年8月末時点）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (2)	3 (1)	5 (1)	1 (3)	0 (4)								11 (11)
	2. 政令市	1 (0)	1 (3)	0 (2)	3 (2)	1 (3)								6 (10)
	3. 一般市	1 (0)	4 (1)	2 (2)	5 (6)	2 (3)								14 (12)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)								0 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)								3 (2)
	合計	4 (2)	9 (6)	7 (6)	9 (11)	5 (11)								34 (36)
工事分類	1. 管きょ開削	2 (2)	2 (4)	3 (2)	7 (6)	4 (4)								18 (18)
	2. 管きょ推進	0 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (2)	0 (1)								3 (4)
	3. 管きょシールド	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)								1 (1)
	4. 管きょその他	0 (0)	3 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)								4 (2)
	5. 処ポ土木建築	1 (0)	1 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (4)								2 (8)
	6. 処ポ機械電気	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)								4 (2)
	7. 処ポその他	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (0)								2 (1)
	合計	4 (2)	9 (6)	7 (6)	9 (11)	5 (11)								34 (36)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (2)								0 (4)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)								0 (2)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	12-1. 公衆災害（人身）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)								0 (1)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)								0 (1)
	負傷事故	2 (0)	8 (3)	6 (4)	4 (7)	5 (5)								25 (19)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 1	1 (3)								3 (5)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	1 (1)	3 (0)	0 2	1 (0)								5 (3)
	3. 飛来・落下	0 (0)	2 (0)	1 (1)	1 4	0 (1)								4 (6)
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 0	1 (0)								3 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 0	1 (0)								2 (1)
	6. 激突	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 0	0 (0)								1 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 0	0 (0)								1 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 0	0 (0)								0 (1)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 0	0 (0)								0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 0	0 (0)								0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 0	0 (0)								0 (0)
	12-1. 公衆災害（人身）	0 (0)	4 (0)	1 (0)	0 0	1 (0)								6 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 0	0 (0)								0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 0	0 (1)								0 (2)
	物損事故	2 (2)	1 (3)	1 (1)	5 (3)	0 (4)								9 (13)
	12-2. 公衆災害（物損）	2 (2)	1 (3)	1 (1)	5 (3)	0 (4)								9 (13)
	合計	4 (4)	9 (6)	7 (6)	9 (11)	5 (11)								34 (38)

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (2)								0 (4)
	2. 負傷	2 (0)	8 (3)	6 (6)	4 (8)	5 (5)								25 (22)
	合計	2 (0)	8 (3)	6 (7)	4 (9)	5 (7)								25 (26)
	累計	2 (0)	10 (3)	16 (10)	20 (19)	25 (26)								－ －

※（　）書きは、前年度（令和7年度）の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和8年8月末時点

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被害者状況		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
8月										
1	R8.8.7	3.一般市	1.管きょ開削	**開削工**	掘削箇所の反対側へ移動する際、本来は迂回または通路を利用すべきところ、掘削箇所をまたいで通行した。 その際、土留矢板の突出部につまずいて掘削内（深さ約1.4m）へ転落し、背中を配管サポートに強打して鎖骨を骨折した。	**現場内**	1.墜落・転落	67	男	鎖骨骨折（全治1か月）
2	R8.8.25	5.その他	6.処ポ機械電気	設備工	被災者（作業員）が開口部養生蓋※が支障になることから右足で移動させたところ、開口□300mmへ右足を突っ込み転倒し、負傷 ※事故当時、表には開口注意の表記があるが、裏返しになっていた。	**現場内**	5.転倒	42	女	右第12肋骨骨折、腰部打撲傷、右股関節捻挫、右殿部打撲傷
3	R8.8.28	5.その他	1.管きょ開削	開削工	塩ビ小型マンホールの立管を据付け作業中、バックホーで塩ビ管を吊り上げていた際に、吊り金具から塩ビ管が滑り落ち、掘削断面内にいた被災者の右肩に直撃した。 なお、被災者はヘルメットを着用していた。	**現場内**	4.切れ・こすれ	46	男	右鎖骨骨幹部骨折
4	R8.8.31	2.政令市	1.管きょ開削	開削工	下水道管きょの掘削工事の歩行者用通路にて自転車利用者に降車して通行するよう交通誘導員へ指示し施工を行っていた。被害者に対しても通行時の注意喚起を行ったが、降車を促す前に自転車に乗ったまま通行したことにより、掘削箇所へ転落し負傷した。	**現場内**	12-1.公衆災害（人身）			肺気胸、肋骨(4本)骨折
5	R8.8.31	3.一般市	1.管きょ開削	開削工	下水道布設工事の埋戻し作業中、4tダンプのあおり（後部鋼板）のロック爪部分に小石が挟まり、完全にロックされていない状態となった。被災者が小石を取り除こうとしたところ、ロック爪が作動して閉じ、左親指を挟まれ負傷した。	**現場内**	2.はさまれ・巻き込まれ	24	男	左親指挟まれ

：死亡事故　　**：負傷事故**　　**：物損事故**

4.水質事故等

（令和8年8月末時点）

[総括]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等　合計	**5 (2)**	**4 (1)**	**5 (1)**	**2 (9)**	**8 (5)**								**24 (18)**
	累計	**5 (2)**	**9 (3)**	**14 (4)**	**16 (13)**	**24 (18)**								**－**

[内訳]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (0)								3 (2)
	2. 政令市	2 (0)	3 (0)	0 (1)	0 (1)	3 (1)								8 (3)
	3. 一般市	3 (1)	1 (1)	3 (0)	0 (7)	3 (4)								10 (13)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)								2 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (0)
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)	8 (5)								24 (18)
発生施設	1. 管渠	1 (0)	0 (0)	4 (1)	1 (2)	5 (3)								11 (6)
	2. マンホール	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (2)	1 (1)								5 (4)
	3. 処理場	4 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (3)	1 (0)								6 (5)
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (1)								2 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)	8 (5)								24 (18)
原因者	1. 下水道管理者（委託先含む）	4 (1)	3 (0)	5 (0)	1 (6)	7 (4)								20 (11)
	2. 民間事業者（一般人を含む）	0 (0)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)								1 (3)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (1)								3 (4)
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)	8 (5)								24 (18)
事故類型	① 悪質下水の流入（放流水質が基準に不適合）	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)								2 (3)
	② 悪質下水の流入（放流水質が基準に適合）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)								2 (2)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)								1 (2)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	3 (0)	4 (0)	2 (5)	6 (4)								17 (10)
	⑥ その他事故（①～⑤以外の事故）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								0 (0)
	水質事故　合計	5 (2)	3 (1)	5 (1)	2 (9)	7 (4)								22 (17)
	その他案件	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)								2 (1)
	水質事故等　合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)	8 (5)								24 (18)
状況分類	① 耐用年数経過	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (0)								5 (2)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (0)	4 (0)	0 (2)	2 (3)								9 (5)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)								1 (0)
	④ その他	3 (1)	1 (1)	0 (1)	2 (6)	3 (2)								9 (11)
	合計	5 (2)	4 (1)	5 (1)	2 (9)	8 (5)								24 (18)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※（　）書きは、前年度（令和7年度）の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和8年8月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	事故への対応
8月							
1	R8.8.4	3.一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	管の老朽化により管が破損し、汚水が漏れたと現時点で推測している。	定期的なパトロールの実施。
2	R8.8.9	1.都道府県	処理場	水質事故	①悪質下水の流入（放流水質が基準に不適合）	水処理工程中のリン濃度が異常上昇したため、PAC凝集剤注入量の増加等により対応するが、放流水T-P及び分放流水T-Pが基準超過。水処理の機械設備や運転方法に異常がないことから、悪水の流入によりリン蓄積細菌群が弱体化するなど、活性汚泥に何らかの影響があったとみられる。	原因を調査し、対策を検討する。
3	R8.8.13	2.政令市	ポンプ場	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	ポンプ場の圧送管破損によりポンプ圧送が不能となり、ポンプ井内の水位が上昇したため、周辺の公共桝等から溢水が発生したものである。	・本年度、整備工事により新規で配管を製作し再施工する。
4	R8.8.20	2.政令市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	汚泥圧送管の経年劣化による漏水が発生し、下水処理水が公共用水域に放流された。	・当該漏水箇所の管材を交換 ・アセットマネジメントによる適切な維持管理の実施
5	R8.8.21	3.一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	橋に添架している下水道管渠（圧送管）の破損部から汚水が漏水	前回のドローン調査では主に管上部の撮影を行っており、今回漏水が発生した管下部の調査が十分でない箇所があるため、改めて管下部の調査を実施する。
6	R8.8.26	1.都道府県	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	管渠の空気弁から汚水が道路脇に流出	空気弁のメーカー改修を実施
7	R8.8.26	2.政令市	管渠	その他案件	⑥その他事故（①～⑤以外の事故）	ゲリラ豪雨により急激に雨水管に雨水が流入したことで、エアーハンマーが発生し、鉄蓋（連結蓋）が持ち上がり、漏れたエアー等が舗装を持ち上げたものと推察される。	鉄蓋の固定強化やエアー抜きの設置を検討予定
8	R8.8.29	3.一般市	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	マンホールポンプの自動交互運転の切替リレーの不良により、自動交互運転でポンプが起動できず、汚水が溢水し、道路脇の田んぼに汚水が流入した。（なお、高水位警報は出ていたが、連絡体制に不備があった。）	専門業者による制御盤の点検を行い、原因を究明し修繕等の必要な対策を実施する。 維持管理受託業者内部の連絡体制の改善を図る。